



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東
 コード番号 6383 URL <http://www.daifuku.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北條 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 齊藤 司 (TEL) 06-6472-1261
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	85,063	14.9	6,665	53.6	7,025	64.1	5,029	69.7
29年3月期第1四半期	74,034	8.0	4,340	53.7	4,281	29.4	2,963	14.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 5,393百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △1,082百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	41.30	—
29年3月期第1四半期	24.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	309,507	144,052	45.5
29年3月期	303,540	142,340	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 140,814百万円 29年3月期 139,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	30.00	42.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	20.00	—	32.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	187,000	27.0	15,000	46.9	15,600	52.1	11,000	55.5	90.32
通期	395,000	23.1	30,000	29.9	31,000	30.5	21,000	25.4	172.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	123,610,077株	29年3月期	123,610,077株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,826,387株	29年3月期	1,827,904株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	121,783,981株	29年3月期1Q	121,662,320株

(注) 平成30年3月期第1四半期の期末自己株式数には87,600株、平成29年3月期の期末自己株式数には90,000株、株式給付信託(BBT=Board Benefit Trust)が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで8月8日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の経済は、先進国で緩やかな景気の回復、新興国の多くで停滞感が続いています。一方、中国では好調な消費が牽引し成長率が回復しています。わが国経済は、中国などへの輸出が高水準で、設備投資などの経済見通しは底堅く推移しています。

eコマースなどに伴う世界的な物流イノベーション、産業界全体での自動化気運、IoTの進展やディスプレイの高精細化に伴う半導体や液晶パネルの活発な需要などにより、当社グループの主力事業であるマテリアルハンドリングシステムは、ますます導入ニーズが高まっています。

このような経済・事業環境のもと、当社グループの業績は、順調に推移しました。

受注は、世界的にeコマース関連の配送センターが大規模化していること、半導体・液晶パネル業界の設備投資への意欲が旺盛であること、自動車工場向けや空港向けシステムも順調であることから、過去最高の数字となりました。

売上は、豊富な受注残をベースに堅調に推移しました。

この結果、受注高は1,485億75百万円（前年同期比144.9%増）、売上高は850億63百万円（同14.9%増）となりました。

利益は、主としてダイフク単体の増収と原価改善による収益力向上が牽引しました。

この結果、営業利益は66億65百万円（同53.6%増）、経常利益は70億25百万円（同64.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億29百万円（同69.7%増）となりました。

なお、当連結会計期間の当社グループの平均為替レートは、米ドルで112.82円（前年同期115.07円）となりました。この結果、前年同期比で売上高は約6億円目減りしましたが、営業利益への影響はほとんどありませんでした。受注高は、当期の期中受注に対する上記円高影響により約13億円減少した一方、平成29年3月期末の受注残に対する為替換算の差額影響などにより約120億円増加したため、前年同期比で約107億円増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。セグメントに関する詳細は、後記（セグメント情報等）をご参照下さい。

①株式会社ダイフク

受注は、国内の流通業向けシステムが大型化して件数も増えていること、アジア・北米の半導体・液晶パネル工場向け輸出案件が大幅に増加していることなどにより好調でした。自動車生産ライン向けシステムも、国内のサービスや小規模の改造案件が堅調に推移しました。

売上は、豊富な受注残をベースに堅調に推移しました。

利益は、売上増、原価改善などが奏功しました。

この結果、受注高は698億85百万円（前年同期比128.5%増）、売上高は385億27百万円（同12.3%増）、セグメント利益は41億68百万円（同89.1%増）となりました。

②コンテックグループ

日本市場では、大口の案件が少なかったため、昨年と比べて産業用コンピュータ製品の売上が減少したものの、企業の設備投資が好調であったためIoT機器製品の売上が好調に推移しました。

また、米国市場では、医療機器業界向けの産業用コンピュータ製品の売上が堅調に推移しました。

利益面では、販売数量増加が寄与しました。

この結果、受注高は32億25百万円（前年同期比17.0%減）、売上高は35億54百万円（同3.1%減）、セグメント利益は1億38百万円（同20.7%増）となりました。

③ Daifuku North America Holding Company (DNAHC) グループ

受注は全体に順調で、特に半導体メーカー向けシステムが当初予定を大きく上回りました。一般製造業や流通業向けシステムや自動車生産ライン向けシステムも堅調に推移しています。空港向けシステムは、新規設備とサービスのセットで大型システムを受注しました。

売上は、好調な受注をベースに着実に進捗しました。利益面では、一部の大型案件に採算悪化があり、減益となりました。

この結果、受注高は388億75百万円(前年同期比174.5%増)、売上高は210億29百万円(同7.5%増)、セグメント利益は4億55百万円(同23.7%減)となりました。

④株式会社ダイフクプラスモア

株式会社ダイフクプラスモアは、洗車機の国内販売会社です。販売は、政府の補助金政策を背景にサービスステーション向けが好調であること、ディーラーなどカー・アフターマーケット向けは底堅い需要があることから、堅調に推移しています。

第1四半期は例年、利益が伸び悩むものの、第2四半期以降に挽回していく見込みです。

この結果、受注高は35億42百万円(前年同期比14.7%増)、売上高は24億98百万円(同9.2%増)、セグメント損失は17百万円(同66百万円増益)となりました。

⑤その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社52社のうち、上記②③④以外の国内外の子会社です。各社とも、マテリアルハンドリングシステム・機器、電子機器、洗車機の製造や販売等を行っています。

主要な海外現地法人には、大福(中国)有限公司、台湾大福高科技設備股分有限公司、Daifuku Korea Co., Ltd.、Clean Factomation, Inc.(韓国)、Daifuku(Thailand) Ltd.などがあり、グローバルな最適生産・調達体制の一翼を担い、所在国から国外への輸出も増やしています。

中国では、急速に高まっているeコマースなど流通業向けのニーズに対して、活発な受注活動を展開しています。自動車生産ライン向けシステムは、SUV人気などにより足元の自動車販売台数が伸びていることに加え、環境面に配慮した電気自動車への転換政策も踏まえて、顧客密着体制を強化していきます。液晶工場向けは、有機ELの需要が高まる一方、テレビ用パネルの大型化が進み、大規模案件を含む活発な受注状況が継続しています。

台湾では台湾国内の半導体工場および液晶パネル工場向け設備投資に一服感があるものの、韓国では半導体の旺盛な需要を反映して半導体工場向けシステムの受注が好調です。

アセアン諸国やインドでは、食品・日用雑貨・医薬品などの製造業への設備投資は活発で、特に冷凍食品業界の需要が急速に伸びています。各地に展開する現地法人でこうしたニーズを取り込むとともに、タイでの現地生産等を進め、この地域への供給を強化します。

ニュージーランドのBCS Group Limitedは、グループ企業と協業して、空港向けシステムのグローバル展開を強化しています。

当連結会計期間は、アジアの半導体・液晶業界の設備投資が活発であったことから、受注高は330億45百万円(前年同期比269.7%増)、売上高は174億33百万円(同9.2%増)、セグメント利益は3億69百万円(同51.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部について

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,095億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億67百万円増加いたしました。これは未成工事支出金等が23億72百万円、流動資産その他が12億21百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。

②負債の部について

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,654億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億55百万円増加いたしました。これは未成工事受入金等が36億82百万円、未払法人税等が17億39百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。

③純資産の部について

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,440億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億11百万円増加いたしました。これは利益剰余金が13億71百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成29年5月11日に公表した、平成30年3月期第2四半期連結累計期間および通期連結累計期間の業績予想を下記の通り変更いたしました。好調な受注により、売上・利益の予想を上方修正しています。生産量がかつてない高水準になりますが、日本と海外各地の工場群の有機的な連携、海外工場の能力強化、デジタル技術を活用した生産改革などで、恵まれた事業環境をフルに生かしていきます。

順調な業績に伴い、平成30年3月期の中間配当予想を1株当たり5円増配して20円に修正します。年間配当予想は、期末配当32円と合計で過去最高の52円となります。詳細は、本日別途開示しております「業績予想及び中間配当予想の修正のお知らせ」をご覧ください。

平成30年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	180,000	12,600	12,900	9,000	73.94円
今回発表予想 (B)	187,000	15,000	15,600	11,000	90.32円
増減額 (B-A)	7,000	2,400	2,700	2,000	—
増減率 (%)	3.9	19.0	20.9	22.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期第2四半期連結累計期間)	147,264	10,208	10,253	7,072	58.12円

平成30年3月期通期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	380,000	26,600	27,400	19,000	156.09円
今回発表予想 (B)	395,000	30,000	31,000	21,000	172.44円
増減額 (B-A)	15,000	3,400	3,600	2,000	—
増減率 (%)	3.9	12.8	13.1	10.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期通期)	320,825	23,099	23,760	16,746	137.58円

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、上記予想数値と異なる場合があります。

受注は、平成29年5月11日の第2四半期連結累計期間予想値の210,000百万円に対して260,000百万円(23.8%増)、通期予想値の390,000百万円に対して440,000百万円(12.8%増)を見込んでいます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,802	66,035
受取手形・完成工事未収入金等	124,005	123,657
商品及び製品	4,910	4,925
未成工事支出金等	8,860	11,232
原材料及び貯蔵品	9,086	10,087
その他	10,919	12,140
貸倒引当金	△116	△112
流動資産合計	222,468	227,965
固定資産		
有形固定資産	33,586	34,115
無形固定資産		
のれん	9,882	9,371
その他	5,548	5,315
無形固定資産合計	15,430	14,687
投資その他の資産		
その他	32,187	32,870
貸倒引当金	△132	△131
投資その他の資産合計	32,054	32,738
固定資産合計	81,071	81,542
資産合計	303,540	309,507
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	40,311	40,044
電子記録債務	18,806	20,128
短期借入金	21,647	19,950
未払法人税等	1,239	2,979
未成工事受入金等	26,313	29,995
工事損失引当金	863	775
その他	16,885	16,390
流動負債合計	126,067	130,263
固定負債		
社債	2,700	2,700
長期借入金	15,422	15,996
退職給付に係る負債	13,486	13,236
その他	3,522	3,258
固定負債合計	35,132	35,191
負債合計	161,199	165,455

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,016	15,016
資本剰余金	15,915	15,915
利益剰余金	107,349	108,721
自己株式	△1,586	△1,584
株主資本合計	136,694	138,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,290	4,766
繰延ヘッジ損益	△5	△47
為替換算調整勘定	5,102	4,588
退職給付に係る調整累計額	△6,989	△6,562
その他の包括利益累計額合計	2,398	2,746
非支配株主持分	3,247	3,237
純資産合計	142,340	144,052
負債純資産合計	303,540	309,507

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	74,034	85,063
売上原価	59,650	68,405
売上総利益	14,383	16,657
販売費及び一般管理費		
販売費	3,964	4,302
一般管理費	6,078	5,689
販売費及び一般管理費合計	10,042	9,991
営業利益	4,340	6,665
営業外収益		
受取利息	45	41
受取配当金	190	195
持分法による投資利益	116	93
為替差益	—	24
受取賃貸料	58	59
その他	60	69
営業外収益合計	471	483
営業外費用		
支払利息	111	91
為替差損	388	—
その他	31	32
営業外費用合計	530	123
経常利益	4,281	7,025
特別利益		
関係会社清算益	27	—
事業譲渡益	—	43
その他	2	3
特別利益合計	30	47
特別損失		
固定資産除売却損	19	15
その他	10	1
特別損失合計	29	16
税金等調整前四半期純利益	4,282	7,056
法人税、住民税及び事業税	1,832	2,628
法人税等調整額	△562	△650
法人税等合計	1,269	1,978
四半期純利益	3,012	5,078
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,963	5,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	48

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△782	474
繰延ヘッジ損益	△10	△47
為替換算調整勘定	△3,242	△971
退職給付に係る調整額	627	433
持分法適用会社に対する持分相当額	△686	426
その他の包括利益合計	△4,094	315
四半期包括利益	△1,082	5,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,022	5,377
非支配株主に係る四半期包括利益	△59	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	ダイフク プラスモア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,312	3,668	19,570	2,287	59,838	15,968	75,807
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,300	1,995	81	5	8,382	3,348	11,730
計	40,612	5,664	19,652	2,292	68,221	19,316	87,538
セグメント利益又は損失(△)	2,204	114	597	△83	2,832	244	3,077

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	68,221
「その他」の区分の売上高	19,316
セグメント間取引消去	△11,730
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△1,647
その他の連結上の調整額	△126
四半期連結財務諸表の売上高	74,034

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,832
「その他」の区分の利益	244
関係会社からの配当金の消去	△72
工事進行基準売上高の連結上の調整額	△144
その他の連結上の調整額	102
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	2,963

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	ダイフク プラスモア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,527	3,554	21,029	2,498	65,609	17,433	83,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,086	2,605	81	0	11,773	3,027	14,801
計	47,614	6,159	21,110	2,498	77,382	20,461	97,844
セグメント利益又は損失(△)	4,168	138	455	△17	4,745	369	5,115

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	77,382
「その他」の区分の売上高	20,461
セグメント間取引消去	△14,801
工事進行基準売上高の連結上の調整額	1,858
その他の連結上の調整額	161
四半期連結財務諸表の売上高	85,063

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,745
「その他」の区分の利益	369
関係会社からの配当金の消去	△264
工事進行基準売上高の連結上の調整額	144
その他の連結上の調整額	33
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	5,029